

# 腸閉塞全国集計に関する研究

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2018 年 7 月 19 日 ~ 2020 年 6 月 30 日

## 〔研究課題〕

腸閉塞全国集計：腹腔鏡手術と癒着防止フィルムは腸閉塞を減少させたか？

## 〔研究目的〕

腸閉塞全国集計を行い、消化器外科手術後の腸閉塞発症率を明らかにすることです。また、最近の腸閉塞の統計をとり、2000年の全国集計と比較して癒着防止フィルムと腹腔鏡手術の腸閉塞発症への影響を中心に腸閉塞の現状を考察します。

## 〔研究意義〕

癒着防止フィルムと腹腔鏡手術は術後腸閉塞の発症率を減少させることが期待されていますが、これまでにこれらの有効性を示す大規模研究はありません。近年の消化器外科手術後の腸閉塞発症率、リスク因子を明らかにすることで、これらの有用性を検証するとともに、腸閉塞発症率を更に減少させられる可能性があります。

## 〔対象・研究方法〕

- (1) 2012年4月から2014年3月まで（2年間）に消化器手術を行った患者さま
- (2) 2015年4月から2018年3月まで（3年間）までに腸閉塞の治療を行った患者さま

以上の患者さまを対象として、(1)では術後5年以内の腸閉塞発症の有無、腸閉塞発生のリスク因子（病名、術式、腹腔鏡手術の有無、癒着防止フィルム使用の有無など）、腸閉塞に対する治療法を、(2)では、リスク因子が治療法や治療効果に影響を与えたかを調査します。

## 〔研究機関名〕

この研究は多施設共同研究です。

### 【研究代表者】

日本医科大学 消化器外科 山田岳史

### 【帝京大学ちば総合医療センター】

外科	教授	幸田 圭史（当院実施責任者）
	講師	小杉 千弘
	助教	成島 一夫

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は当センターにて厳重に管理し、[t1]研究事務局へは匿名化した情報のみを提供します。研究事務局 情報管理責任者は 日本医科大学付属病院 消化器外科 山田岳史です。研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：外科 教授 幸田 圭史

研究分担者：外科 講師 小杉千弘、助教 成島一夫

住所：千葉県市原市姉崎 3426-3

TEL：0436-62-1211 （代表） 〔内線 2750〕